

## 第6次総合計画策定に係る【志賀高原保育園】保護者懇談会 会議録

### 開催日・出席者等

---

開催日時 令和2年8月12日（水） 15時00分から16時15分まで  
場 所 志賀高原保育園 遊戯室  
出席者 竹節町長、健康福祉課長、子ども支援係長、総務課長、企画係長、企画係員

### 会議事項・懇談内容

---

- 1 開会（総務課長）
- 2 挨拶（竹節町長）
- 3 第6次山ノ内町総合計画について（企画係員）

#### 懇 談

【発言】 懇談会参加者意見

【回答】 役場出席者意見

#### 【発言1】

志賀高原の子どもたちの小中学校へ通うバスの定期代が懇談会などでは毎回話題になる。他の地区の方は交通費がかからないと思うが、義務教育で通う中で、一部の地域の人だけお金が余計にかかることになるので、町で補ってもらえたら助かる。

#### 【回答1】

通学バスの定期に関して、教育委員会が担当している内容だが、志賀高原山内から上林間については、町が全額負担している。上林から先はどうして補助対象じゃないかという、沓野に住んでいて歩いて通っているお子さんはいるわけで、そこは保護者負担ということでご理解いただきたい。

保育園のバス通園に関しては当課で担当しているが、定期券の75%は町が負担し、25%を保護者の方をお願いしている。ただし、未満児はバスに一人で乗れないので各ご家庭での送迎をお願いしているところ。

#### 【発言1-2】

かえで保育園のスクールバスは保護者負担で運行しているのか。

#### 【回答1-2】

園児バスを運行している かえで・よませ・ほなみ保育園では、帰りのみの運行ということ

で町が全額負担している。志賀高原のバス通園は行きも帰りもということで 75%補助としている。補助率についてどうしていくのかはこれからの検討になるが、各保育園の均衡の中で現状はこうなっている。

**【発言 1－3】**

そこをもうちょっと、とお願いしたい。

高校や大学の通学に関しては、交通費の補助などあるか。

**【回答 1－3】**

通学に関しては、定期券の 20%分を補助する制度がある。当初は長野電鉄分のみ補助としていたが、飯山や長野などに通学するお子さんも増えてきたことから、バス定期代も含めて 20%補助している。

**【発言 1－4】**

町の外に若者が出てってしまうという部分で、高校や大学に通う交通の便が悪かったり交通費がかかったりするため、学校の近くで賃貸借りても費用変わらないなら引っ越してしまおうと考えてしまう人が多いのでは。買い物だって便利になるし。で、町外から旦那が志賀に通勤するという話を聞いたことがある。私も、子どもが進学して生活にかかる費用が変わらないのなら、便利な方をとるかなと思う。志賀高原は環境もすごくいいので、交通費の補助率などを上げてもらって、町外に引っ越すよりもお金がかからないという利点があれば住み続けたいと思う。

**【回答 1－4】**

定住促進に向けたご意見として伺っておく。

周囲にそういった理由から町外に引っ越された方はいるか。

**【発言 2】**

ホテルや旅館のオーナーは家族で引っ越すことは難しいと思うが、私は旦那がグランフェニックスの社員で寮に住んでいて、私のホテルの例で言うと、保育園は志賀高原にあるからいいが、小学校は通うのが大変だから入学と同時に山から下りるのが通例となっている。私は、第一子を産むときは病院が遠いと不安なので、中野市にアパートを借りて子どもが 1 歳になるまで住んでいて、志賀高原の社員寮に戻ってきた。志賀高原は保育園もあるし、子どもをのびのびと育てられるよい環境だと思うので今はここに住んでいたい、いずれ子どもが小学校に入学する時に、残るか下るかという選択になってくると思う。山から引っ越す場合、町内に住むか町外に住むかという選択になる。ホテルまでの通勤時間として 5 分 10 分違うだけなら、便利な方を選んでしまうのかもしれない。先ほどの交通費の補助もそうだが、家賃補助なんかあれば、町内でアパートを探そうと思うのではないか。

奥志賀の近所をみても、赤ちゃんは結構生まれているが、その家族が将来どこで暮らしていくかが重要ではないか。ずっと町内で暮らしていけるような費用面での補助が必要だと思う。

また、山を下るとなった時に町内で家を探しても、家族で入居できるような良い物件がなかなかない。物件数も多く便利な中野市にという選択になってしまいがちな中で、山ノ内町には家賃補助があるということであれば、町内でぜひ探そうという気持ちになる。

**【回答 2】**

移住や若者定住策として、家賃補助も実施させていただいているところ。

**【発言 2-1】**

移住者に限られていたり、結婚何年目であったり、条件がかなり厳しい。

**【回答 2-1】**

住宅改修や新築の補助などもあるが、補助の要件緩和や内容の拡充により対象となれば、便利な中野市と比較しても町内定住が選択肢として挙がってくるか。

**【発言 2-2】**

そう思う。

**【回答 2-2】**

住宅や交通の問題は大きな課題であると認識している。

高校生の通学定期補助も当初は 10% でスタートしたが、20% に拡大したときにより多くの方から申請いただいた経過もある。町の予算の中でという部分で簡単なことではないが、ご意見をいただく中でより使っていただけるように検討していく必要があると感じている。

住宅施策に関して、中野市は民間のアパートが充実していると思う。公共の家族向けの住宅は、中野市を含めて近隣ではかなり少ない。理由としては、公共の賃貸を安く提供することで既存の民間のアパートの入居希望者を減らしてしまうことになるから。ただ、現状をお聞きする中で、全くやりませんということではなく、十分に検討させていただきたい。

**【発言 3】**

仕事の関係、子育てをしていると、フルタイムや決まった時間で働くことが難しい。この時間にこの仕事で何人ほしい、みたいなスポットで入れる仕事とかを一括で検索できるサイトなんかあれば有難い。

**【回答 3】**

ホテルとか旅館の仕事の話か。

**【発言 3-2】**

現在 2 人子育てしながらホテルの仕事をちょこっとお手伝いという状況。決まった時間にコンスタントに仕事を入れるのはなかなか難しい。例えばホテルや旅館の清掃作業だけとか、特定の時間と期間だけパートが必要なことってあると思うので、そういうのをマッチングできる

サイトがあれば、働く側も雇う側も有難いのでは。

**【回答 3-2】**

旅館ごとのサイトではなく、複数の宿が一括で選べるようなイメージか。

**【発言 3-3】**

例えば清掃であれば、施設が変わってもそんなにやることは変わらない。ある程度経験がある人ならどの施設に行っても少し教えてもらえばできると思う。

現在はホテル毎に直接電話で確認しているので、結構大変。複数の施設を一括で検索できるとすごく楽になる。経験者でも、子育てもあるし面倒だな〜と思って働けないまま過ごしている人も多いのでは。

**【発言 3-3-2】**

ホテル側としてもよいと感じる。特定の日だけ人が欲しい時には、ホテルからパートさんに直接電話して人数を集めている状況。複数のホテルの求人が一括で見られるのであれば、お母さん方もチェックすると思うし、ウェブに掲載するだけでスポットのパートさんが集まるのであれば、ホテルはすごく楽。

**【回答 3-3】**

主管課へ情報提供させていただく。

今までの仕組みとしては、各施設で決まった期間・時間に必要な人数を、各施設のホームページやハローワークで募集し、固定のパートとして雇っていたかと思う。契約したパートが毎日来るであったり、シフトで必要な日に来るといった形態であったかと思う。

お話をいただいた内容は、従来の雇用形態よりもっと自由に、ホテルが必要な日に、どんな方でもスポットで働けるようなイメージかと思う。そういった形態でも求人情報の提供が可能か、主管課に確認させていただきたい。

**【発言 4】**

山ノ内町では、子どもが生まれた時の手当などあるか。中野市では子どもが生まれた時におむつ用に大量のごみ袋をもらったようだ。

出産すると和合会から 10 万円もらえて、おむつ代などの出費が大きい中で大変助かった。10 万円は多額だと思うが、少しでも自由に使えるお金や地域で使える金券（以下、地域券）をいただけると嬉しい。保育園や学校入学の節目にもお金がかかるので、いただけると助かると思う。運動着などは町内で買うと思うので、地域券なら十分使い道がある。町外からお嫁に来た方が多いと思うので、町内で買い物をするキッカケにもなると思うが。

**【回答 4】**

現状、出産のお祝金はない。

今年度に限っては、定額給付金を 4 月 28 日の基準日以降に生まれたお子さんも対象に 10

万円を支給する。

節目のお祝金については、町長の施策として小中学校の卒業時にお祝金を支給する制度はある。

**【発言 5】**

子どもに習い事をさせているが、中野市や長野市に通うために毎日山を下りている。町内で出来る習い事が限られている中で、交通費に関する支援などいただければもっと住みやすくなると思う。

南小はランドセルが全員共通だと思うが、何か理由があるのか。東小も統一にしてもらえれば安く済むのにな～と思っている。

**【回答 5】**

大昔は統一ではなかったが、最近はずっと統一のものを使用している。中学校のカバンのような、布でできたもの。確か7～8千円くらいだと思う。

**【発言 5－2】**

安い！それで6年間もつのか。

**【回答 5－2】**

修理もしてくれるし、買いなおしても7～8千円。

転入してきた子はだいたい良い革のものを持っているが、安いので買いなおす子も多い。

**【発言 5－3】**

東小学校は5～6万円するランドセルを買う。統一であれば、諦めがつくではないけど、出費的に嬉しい。特に女の子はランドセル決めるのが大変だが、統一なら助かる。

同じ町内で小学校によって違うのはなぜか疑問。東小学校も保護者にアンケートとかとって、統一になれば安く済んでよいと思うが。

**【発言 5－3－2】**

中野市でも統一のランドセルを使用している小学校があるようだが、保護者に聞くと大変助かったと言っていた。

**【回答 5－3】**

南小学校だけでやっている経緯はあると思うが、ちょっとわからない。

ご意見は教育委員会に伝え、いい時期なので（統合時に向けてということ？）、アンケートなどで保護者の意見を聞く中で変えていくという可能性もある。

**【発言 6】**

志賀高原保育園の子どもの数が減ってきて、不安に思う部分がある。

先生方も少人数の中で工夫してくださっていることもわかるし、少人数だからこそ手厚い保育を行っていただけるということは大変有難いと思うが、例えば、新たに転入してきた方は、志賀高原保育園は人数が少ないから、社会性とか集団行動を学ぶ観点から人数の多いかえで保育園を選ぶことも考えられる。

耐震工事をやっていただいたところで大変申し訳ないが、多少の転入出はあるとしても、2～3年で園児数が5人以下になる状況がわかっている。今後の方針とか、何か対策など考えているか。

#### 【回答6】

志賀高原保育園の耐震工事の時に、一時的にかえで保育園に通園いただいたことがある。通園には園児バスや未満児にはチャイルドシートを設置した車両などを使い運用したが、山内から保育園までの長時間の移動が小さいお子さんには大きな負担となってしまうという話を聞いている。

町の方針としては、しばらくの間は志賀高原保育園も含め現状の5保育園での運用を継続したいと考えている。園児が少なくなる中で職員の手当をどうしていくかはシュミレーションしていないので何とも言えないが、園児の数を見ながら、どう運営していくべきなのかは緊急の課題だという認識はある。現状としては、前期5か年計画の中では統合について想定をしていない。

#### 【回答6-1-2】

園児が減る中で心配だとは思いますが、今生まれる人数を見れば5年後のほしい園児数はわかるわけだが、転入者を増やす中で園児数も増やすようなことも想定しながら、なかなか難しい課題だと思うが、考えていきたい。

統合については、しばらくはないということをご理解いただきたい。

#### 【発言7】

休日保育はかえで保育園でしか実施できないか。

#### 【回答7】

今はかえで保育園のみ。

#### 【発言7-2】

園児も少ないし、先生が上がってくるのが大変だからか。

ホテルは休日が忙しいので、休日保育をお願いすることが多い。

#### 【回答7-2】

アンケート調査を実施すると、地区によって働く時間や曜日が違っており、観光地では特に休日の保育が必要だという意見をいただく。具体的に、平日は休んでいいから土日に保育園を開園してほしいという意見もいただいているところだが、公立の保育園は一律で運用している

ため実施できていないのが現状。保護者の皆さんから保育園を平日休みで土日開園してほしいという要望が強いのであれば、町でも規則・条例を変えて対応が可能か、じっくり研究させていただきたい。

休日保育については、かえで保育園のみで現場の体制が確立しているため、今のところは現状でご理解いただきたい。

**【発言 7-3】**

休日保育を利用する時、山内の例えば志賀高原保育園集合でかえで保育園まで園児バスで送迎してもらえると助かる。

**【回答 7-3】**

ご意見はよくわかるが、職員体制の見直しやバス運行に費用がかかってくる話なので、今でできないの回答は難しい。ご意見として伺っておく。

**【発言 8】**

志賀高原の救急体制について、数年前は夜間も職員がいたと思うが、いなくなってしまったのはなぜか。予算の関係で夜間配備できなくなったのか。消防士同士でも夜間配備の必要性について話はするようだが、実施にはならないと聞いたことがある。特に冬は下からだと1時間以上かかると思うので、緊急を要する場合には困ってしまう。

**【回答 8】**

志賀高原の分遣所の設置については、オリンピック開催時に消防職員がイチイチ下の本署まで下りたり救急車両の中でご飯を食べるのが良くないということで、オリンピック対応で整備し、オリンピックが終わるまでは職員を夜間常駐させるという約束だった。オリンピックが終わった時に、職員や役員が変わっていく中で町も地元も約束について誰も言い出さずに、なんとなくそのままになっていた。私が助役の頃だが、その約束をどうするかと志賀の皆さんと話し合いをした結果、毎年6,800万円になる志賀高原の都市計画税をなしにする、各ホテル・旅館のごみ収集は本来事業者が行うところを引き続き町が収集する、その代わりに、分遣所の夜間常駐はなし、志賀高原の宣伝費として町から補助していた1,500万円はなし、という結論に至った経過がある。例えば中野市では事業者のゴミは収集費も処理費も自分たちで支払っている。消防の関係では、北志賀だって本署から遠いのに志賀だけ分遣所があるのは不公平だと言われたり、色々批判もあったが、バランスをとりながら調整してきた経過がある。今になれば、皆さんのご意見も色々あるかと思うが、当時は地元の皆さんのご要望でこうなったということをご理解いただきたい。

行政は、色々な過去の経過の中で出来る事と出来ない事もあるが、皆さんからのご要望が変わってきているとすれば、時代に合わせて考えていかななくてはならないとは思う。

**【回答 8-1-2】**

経過を説明したが、夜間常駐はちょっと難しいかなと思う。

4 その他

SUGUメール登録のお願い（企画係長）

- ▶ 質疑等特になし

5 閉会（総務課長）

以上